

地域に根ざした 女性部活動



▲女性部の果たす役割の重要性を語る佐々木部長と新役員

第14回丁Aあきた白神女性部総会が4月3日、藤里町のホテルゆとりあ藤里で開催され、平成24年度事業報告や役員改選などを協議し、原案通り承認されました。

総会には、管内3支部の役員など約40名が参加。はじめに佐々木博子女性部長が「3支部が各々の活動を通じて地



▲参加者でJA女性組織綱領を唱和する

域貢献・活性化を図り、変化する農政に対応していきたい。」と挨拶しました。そのあと協議が進められ、平成25年度は『食と農を守る活動』『くらしと環境を守る運動』などに取り組んでいくことを誓い合いました。また役員改選も行われ、新役員がそれぞれ抱負を語り合いました。

新役員は次の通りです。

- ◎部長 佐々木博子さん
- ◎副部長 工藤 貞子さん
- ◎藤原 京子さん
- ◎会 計 飯坂 秀子さん
- ◎監 事 安井 昌子さん
- 桂田 琴子さん

助けあい組織 いきいき会 たんぽぽ会



▶助けあい組織会員が手ほどきを行う

▶ 16日、フェイスタオルを使った帽子づくり講習会「しゃっぽの会」が開催され、予定人数を大幅に超える120名の参加者が作り方を学びました。

▶ 主に抗がん剤治療を行う



▶出来上がったタオル帽子

患者が使用しているタオル帽子は、これまでJA女性部などを含む市民団体によって同病院に寄贈されています。またタオル帽子は、就寝の際や料理・洗濯などの際にも重宝するため、作成・利用する家庭が地域で増えております。

今回開催された「しゃっぽの会」では、JA女性部の助けあい組織である能代いきいき会（石川テイ子会長）と、二ツ井たんぽぽ会（藤田ミヤ子会長）の会員7名が講師を務め、参加者らに愛情伝わるタオル帽子作りを教えました。

